

久慈地域の地域材利用推進のためのセミナー開催

平成23年11月2日に、南部アカマツ振興センター主催の地域材利用推進に関するセミナーが久慈市(久慈地区合同庁舎)で開催されたので紹介します。

1 セミナーについて

「復興住宅にもとめられるもの～耐震性の確保とローコスト高性能住宅の提案～」と称してセイホク(株) 神谷文夫 技師長、岩手県立大学 内田信平 准教授を講師として迎え、以下の2テーマについて講演が行われました。

- (1) 「住宅建築に関する合理的な構造、耐力の確保」: 建築物の耐力に関する基本概念が説明され、実例をあげ、耐力、コスト、防火性能に関する説明が行われました。
- (2) 「復興に向けてのローコスト・耐震・省エネ住宅の提案」: 宮古地域の瓦礫を用いたパーティクルボードの紹介、ローコスト、高性能住宅の具体的な提案(図面、仕様、価格)がされました。

2 結果

参加者は41名(建築13名、木材7名、その他21名)となり、久慈、八戸地域の方が多く参加しました。セミナー終了後のアンケートの結果、87%がセミナー内容を理解し、受講者から、「地域の住宅を地域工務店がつくる意味をあらためて考えるきっかけとなった。」「今後、復興住宅の取組みに協力していきたい。」などの評価を得る、一方、「地

域材利用にはコストダウンが必要」など課題の示唆もありました。

3 今後の予定

今後、八戸地域でセミナー開催を予定しております。



写真1 セミナーの風景(終了時)



写真2 講師



写真3 コーディネーター